

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2025.2.8
第 1136 回放送分『新型コロナウイルス感染症の総括』2 回目
ゲスト：西順一郎ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは、「新型コロナウイルス感染症の総括」をテーマにお送りしています。

お話は、鹿児島県医師会 西順一郎（にし じゅんいちろう）ドクターです。西さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

西順一郎Dr.

よろしくお願ひいたします。

二見いすず

先週は、新型コロナの現状についてお話しいただきました。

5 類に移行した今でも流行は続いているため、

引き続き感染対策が大切ということでした。

今週は何についてお話しいただけますか。

西順一郎Dr.

今週は新型コロナの症状と治療薬についてお伝えいたします。

症状は年齢別で特徴が異なってきます。

発熱は、子どもが多く、高齢者は少ない傾向にあります。

咳は全世代で多く、強い咽頭痛は、20 代から 50 代の比較的若い世代に多く見受けられます。

頭痛や倦怠感も、若い人に多いです。

二見いすず

若い世代のみなさんの方が、

感染したときに症状がいろいろと出るようですね。

西順一郎Dr.

そうですね。症状が強いののでつらいと思います。

新型コロナは、決して風邪と一緒にではありません。

また、インフルエンザと比べても、症状が長く続きます。

インフルエンザだと、ほとんどの方が 1 週間以内に症状がおさまりますが、

新型コロナだと半数以上の方が、1 週間を超えて症状が続きます。

中には 1 ヶ月以上症状が続く方もいらっしゃいます。

二見いすず

それほど長期化すると、日常生活や仕事などに大きく影響してきますよね。

それに後遺症も気になります。

西順一郎Dr.

そうですね。治った後も、ロングコビットと言われ、後遺症が長期化して、1年以上生活に支障が出る方が成人では10%程度みられます。

二見いすず

十分に気をつけたいですね。続いて、治療薬についても教えてください。

西順一郎Dr.

治療薬は4種類あり、注射薬が1種類、飲み薬が3種類です。注射薬のレムデシビルは、入院したときに使います。

二見いすず

飲み薬はそれぞれどんな特徴があるのですか？

西順一郎Dr.

ラゲブリオとパキロビットパックというお薬は、高齢者や基礎疾患のある方が重症化予防のために服用します。一方、ゾコーバは12歳以上で誰でも服用でき、症状を軽くする効果があります。これらの治療薬はすべて、後遺症を減らす効果があり、また、排出するウイルス量を減らし、周りにうつすのを減らす効果もあります。

二見いすず

そうなんですね。

西順一郎Dr.

早期診断、早期治療が大切です。費用は高めですが、高齢者はもちろん、若い方でも症状が強い方は飲むことをおすすめします。

二見いすず

よく分かりました。
今月は、「新型コロナウイルス感染症の総括」をテーマにお送りしています。
お話は、鹿児島県医師会 西順一郎ドクターでした。
西さん、ありがとうございました。

西順一郎Dr.

ありがとうございました。